

ふれあいトーク記録書 （ 議会サポーター意見交換会 ）

開催日時： 令和6年7月3日（水） 午後7時00分 ～ 午後8時00分

場 所： 市役所7階 第2・第3委員会室

参加人数： 3人（サポーター） 7人（市議会議員） 計10人

次 第： 1. 開会挨拶 市議会議長 関戸郁文

2. 意見交換会

3. 閉会挨拶 市議会副議長 井上真砂美

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
職員のセクハラについて	・総務部長が、“優秀な部下が、このような事を起こして、ショックを受けている”と、庇うような発言をしたことは、問題の本質をわかっていない。市民の方を見ていない。ILOVE 岩倉から、はずれている。	・言葉の言い違いで、真意が伝わらない事がある。もう一度、総務部の部長の言いたい事を検証する必要がある。 ・議会運営上の問題があった。もう少し、当事者間のやり取りが、できるとよかった。反論で終わってしまい、深めることができなかった。 ・ショックという言葉の捉え方は、色々な受け止め方がある。

桜まつりについて	・参加者が、40万人から20万人に、減っている。原因は、情報発信が少なすぎるからである。 ・結果だけを、質問するのではなく、良くするには、どうするかを、考えるべきであり、そのためには、桜まつり実行委員会に出て意見を述べるべきである。 ・出店は、土日だけでなく、春休みなので平日でもいいのではないか。出店があって岩倉である。 ・夢さくら公園の方は、知らなくて出店に来る人が、少なかった。 ・祭りは、そこに住んでいる人が集まり、協力してやるものであり、人を集めるためにやるものではない。住民が喜ぶことが大切である。	・市民の意見として、出店はやめてくれとの意見もかなりあった。場所を制限する必要がある。人数に関しては、少なくなったのは事実で、検討していく必要がある。五条川のキャパで、どのくらいの人数が適正なのかを、行政としても考えて行く必要がある。 ・市民に楽しんでもらうことを、一番最優先に考えている。岩倉を知ってもらうという観光的側面もあり、そのバランスをうまく取っていくことが大切である。 ・北の人は、夢さくら公園に屋台等があって、大変喜んでいた。
-----------------	---	--

サポーターからの声	・ユーチューブでアップデートしているが、やってみると非常に興味がわかない。 ・一般質問の答えが、検討するが多すぎて見えない。検討の後がどうなったか分からない。 ・検討中コーナーを作り、公開してはどうか。 ・実現したリストがあれば、よくなっている実感が感じられる。	・ユーチューブの見方を最初の説明会でお伝えすれば、多少は、分かりやすくなると思う。 ・議会だよりは、コンパクトにまとめられているので、それを見てほしい。 ・議員は、検討中の議案を追っていくことが、大切である。 ・素晴らしいアイデアなので、検討していきたい。
フリートーク	・カラオケボックスが、岩倉にもほしい。 ・中高生が、集まる場所がほしい。	・高齢者のためのカラオケは、認知症予防の観点からあるが、一般向けは難しい。 ・中高生向けの居場所作りは、考えているがいいアイデアがまだない。
フリートーク	・緊急放送無線は、5時の放送しかやっていないので、もっと活用すべきである。 ・ふだんやっていないと、いざという時に役立たない。	・防災無線の活用を考えて行きたい。 ・南新町では、町内の情報を流しているが、他の区ではあまり活用されていないので、区長会などで、使い方を説明していきたい。
フリートーク	・遺跡から土器等の貴重なものが出土しているので、活用してもらいたい。知らない市民も、多くいる。	・岩倉市の財産として、アピールしていきたい。